

英語は何歳から？

子どもは何歳から外国語学習をするべきでしょうか？時に感情的な意見や人々の対立を含みながら、この議論は今も続いています。

特に声を上げて幼少期からの学習に反対の意を示すのが伝統学者や国家主義者です。その多くは幼い頃から外国語を取り入れることが、母国語習得の脅威になると考えているようです。いついかなる時であっても母国語にしっかり精通した後に外国語は取り入れられるべき、というのが彼らの持つ信念です。

これとは逆に、私が支持する側の意見が上がるのも不思議なことではありません。研究と、そして私の経験からもですが、「外国語学習の開始は早ければ早いほど良い」という結果が何度も示されています。これには単にその言語を習得できるようになるだけでなく、他にも多大なメリットがあります。外国語に触れ、学んでいくことで、全体的な知的能力が高まります。外国語が子どもたちにとってマイナスになることはなく、むしろプラスに作用するのです。母国語が並行して保持、発達されていく限り、外国語がその足を引っ張ることは決してありません。

事実、若い脳は新しい情報を格段に早く吸収することができます。経験により日常生活に不必要だと認識された情報を弾くためのフィルターが、まだ形成されていないからです。これは特に、音の認識に当てはまります。言語が違えば、その音の扱われ方もさまざまです。効率を上げるため、私たちの脳は徐々に、母国語に必要な音を取り除くようになっていきます。小学生くらいの頃にはもう、外国語で使われる音を正確に理解したり、発音することは難しくなります。これがリスニングとスピーキングの上達を妨げる大きな原因でもあります。早いうちから外国語に慣れておけば、その分だけこの影響は出にくくなるのです。

とは言え、何も発音を習得できることだけが幼い頃から学習することの利点ではありません。目に見える形でも、見えない形でも、早期の外国語習得には恩恵があります。早くから外国語に触れることで、子どもたちは知的にも社会的にも大きな人間になり得ます。一つの言語だけに触れながら脳を発達させないことを、うまく利用できるのです。そして、言語学習を通して他の文化に親しめるおかげで、子どもたちはより広い心を持ち、多様な可能性や将来性に気付けるようになります。単一文化の小さな箱の外にある選択肢を手にするようになるでしょう。この広い世界観こそが、真の国際化への第一歩なのです。

結局のところ、子どもたちのこの先の性格を形作るためのさまざまな選択をするのはその保護者です。ここにはかなり重大な責任があります。ぜひ皆さんには勇気を出し、できるだけ早くから子どもたちの生活に英語を取り入れてあげてほしいと思います。存分に学び自然な英語を使えるようになるため、幸先の良いスタートを切ることによる強みを、子どもたちに与えてあげてください。そして広い心を持ち、世界を良く知る子に育てていきましょう。

ジャック・サフェル



Cafe information! カフェのお知らせ

● Cafe Facebook

暖かい季節がやってきましたね！こんな時期には美味しいベーグルとコーヒーを持ってお散歩などいかがでしょうか？ もちろん、カナダ人スタッフ Kris (クリス)との英会話を楽しみながら店内でお食事して頂くことも可能ですよ！

そんなKrisが絶賛更新中の公式Facebookがこちら！素敵なお写真もたくさん掲載していますので、ぜひご覧下さい！

[<https://www.facebook.com/EnglishNowCafe/>]

【English Now! Espresso & Bagel 営業時間】

月曜日~木曜日：12:00pm-4:30pm

土曜日：10:00am-5:00pm

*金曜日、日曜日休業



School information! スクールのお知らせ

● 新任講師のご紹介 (Dan Gamble)

この春より新たに Dan Gamble (ダン・ギャンプル先生)が ENGLISH NOW!に仲間入りしました！イギリス人の父と日本人の母を持つハーフですが、母国語はもちろん英語ですので、皆さん英語でたくさん話しかけて下さい！

掲示板やホームページの自己紹介もぜひご覧下さいね。これからどうぞよろしくお願い致します！

● スクール受付時間の変更に関しまして

この4月より、当校の受付時間に変更となりました。ご不便をお掛けしますが、ご確認のほどよろしくお願い致します。

月曜日~木曜日：1:00pm-9:30pm

土曜日：9:30am-6:00pm

*金曜日、日曜日休校